※令和４年度以降入学生用

学校番号	405

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
英語	総合英語Ⅰ	2	第２学年	Elixir1

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

- 総合英語の授業は、「聞くこと」「読むこと」「話すこと（やり取り・発表）」「書くこと」という４技能５領域の力を育成する授業です。各課の言語活動を何度も積み重ねていくことで、充実した言語活動を行います。
- コミュニケーションをとるための語彙や文法の知識を身につけ、様々な活動を通じて、その知識を生かせるよう、学習していきます。
- 生徒がストレスなく英語を使えるよう、能力を伸長できることを願っています。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第２学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと （やり取り）	話すこと （発表）	書くこと
学習到達目標	◆決まった表現でゆっくりはっきりと話された日常生活に関する指示の要点を理解することができる ◆ゆっくりはっきりと話されれば、駅や空港等の短いアナウンスについて必要な情報を聞き取ることができる	◆簡単な語を用いて書かれた人物描写、場所の説明、日常生活や文化の紹介などの、説明文を理解することができる ◆簡単な語句や表現を用いて書かれた短い物語を読み、あらすじを理解することができる	◆基本的な表現を使って、道案内などの指示をすることができる ◆身近なトピックについて、イラストやものを補助的に用いて、簡単な語句や表現を用いて意見交換をすることができる	◆絵、写真などの視覚的補助を利用しながら、簡単な語句や文を使い、身近な話 題について短く話をすることができる ◆簡単な語句や文を使い、趣味や特技に ふれながら、自己紹介することができる	◆日常的な内容であれば、招待状、メモ、メッセージなどを簡単な英語で書くことができる ◆簡単な語句や基礎的な表現を使いながら、and、but、because などで文と文をつないで、日記や説明文などまとまりのある文章を書くことができる

※令和４年度以降入学生用

３ 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	・コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	・外国語の背景にある文化に対する知識をつけ、理解を深めようとしている。 ・聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４ 学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1	UNIT 1・2・3	聞くこと	a: 説明を聞いて、情報を詳しく聞く技能を身に付けている。 b: 【数字の聞き取り・空間や位置の聞き取り・人や物の説明の聞き取り】の会話文・説明文などを聞き取り、自分自身で解釈し答えを導き出すことができる。 c: 必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉え、聞こうとしている。	小テスト やり取り
		読むこと	a: ［知識］英語の語順、文の種類（否定文・疑問文）、時制（現在形・過去形）などの基本的な使い方について理解している。 ［技能］英文を意味のまとまりごとに区切って読み、構造や意味を明確に捉えることができる。 b: 必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉え、読み取ろうとしている。	課題 小テスト 定期考査
		話すこと	a: ［知識］英語の語順、文の種類（否定文・疑問文）、時制（現在形・過去形）を理解している。 ［技能］英語の語順、文の種類（否定文・疑問文）、時制（現在形・過去形）を用いて、情報や自分の考えを整理し、理由や根拠とともに詳しく話して伝える技能を身に付けている。 b: 英語の語順、文の種類（否定文・疑問文）、時制（現在形・過去形）を活用しながら、情報や自分の考えを整理し、理由や根拠とともに詳しく話して伝え合っている。（発表） c: 英語の語順、文の種類（否定文・疑問文）、時制（現在形・過去形）を活用しながら、情報や自分の考えを整理し、理由や根拠とともに詳しく話し伝え合おうとしている。（やりとり）	発表 やり取り
		書くこと	a: ［知識］英語の語順、文の種類（否定文・疑問文）、時制（現在形・過去形）を理解している。 ［技能］英語の語順、文の種類（否定文・疑問文）、時制（現在形・過去形）を用いて、情報や自分の考えを整理し、理由や根拠とともに詳しく書いて伝える技能を身に付けている。 b: 英語の語順、文の種類（否定文・疑問文）、時制（現在形・過去形）を活用しながら、発表用の原稿を情報や自分の考えを整理し、理由や根拠とともに詳しく書いて伝えている。 c: 英語の語順、文の種類（否定文・疑問文）、時制（現在形・過去形）を活用しながら、発表用の原稿を情報や自分の考えを整理し、理由や根拠とともに詳しく書いて伝えようとしている。	課題 小テスト 定期考査
	中間考査			

※令和４年度以降入学生用

	UNIT 4・5・6	聞くこと	a: 説明を聞いて、情報を詳しく聞く技能を身に付けている。 b: 【記号や略語を使ってメモを取る・人の様子や動作の聞き取り・話の要点を理解する】の会話文・説明文などを聞き取り、自分自身で解釈し答えを導き出すことができる。 c: 必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉え、聞こうとしている。	小テスト やり取り
		読むこと	a: ［知識］未来を表す表現、現在進行形・過去進行形、現在完了・現在完了進行形などの基本的な記号の使い方について理解している。 ［技能］英文を意味のまとまりごとに区切って読み、構造や意味を明確に捉えることができる。 b: 必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉え、読み取ろうとしている。	課題 小テスト 定期考査
		話すこと	a: ［知識］未来を表す表現、現在進行形・過去進行形、現在完了・現在完了進行形を理解している。 ［技能］未来を表す表現、現在進行形・過去進行形、現在完了・現在完了進行形を用いて、情報や自分の考えを整理し、理由や根拠とともに詳しく話して伝える技能を身に付けている。 b: 未来を表す表現、現在進行形・過去進行形、現在完了・現在完了進行形を活用しながら、情報や自分の考えを整理し、理由や根拠とともに詳しく話して伝え合っている。（発表） c: 未来を表す表現、現在進行形・過去進行形、現在完了・現在完了進行形を活用しながら、情報や自分の考えを整理し、理由や根拠とともに詳しく話し伝え合おうとしている。（やりとり）	発表 やり取り
		書くこと	a: ［知識］未来を表す表現、現在進行形・過去進行形、現在完了・現在完了進行形を理解している。 ［技能］未来を表す表現、現在進行形・過去進行形、現在完了・現在完了進行形を用いて、情報や自分の考えを整理し、理由や根拠とともに詳しく書いて伝える技能を身に付けている。 b: 未来を表す表現、現在進行形・過去進行形、現在完了・現在完了進行形を活用しながら、発表用の原稿を情報や自分の考えを整理し、理由や根拠とともに詳しく書いて伝えている。 c: 未来を表す表現、現在進行形・過去進行形、現在完了・現在完了進行形を活用しながら、発表用の原稿を情報や自分の考えを整理し、理由や根拠とともに詳しく書いて伝えようとしている。	課題 エッセイ 小テスト 定期考査
	期末考査			
2	UNIT 7・8・9	聞くこと	a: 説明を聞いて、情報を詳しく聞く技能を身に付けている。 b: 【位置関係、道案内の聞き取り・話の要点の理解・必要な情報の聞き取り】の会話文・説明文などを聞き取り、自分自身で解釈し答えを導き出すことができる。 c: 必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉え、聞こうとしている。	小テスト やり取り
		読むこと	a: ［知識］助動詞、受動態、不定詞などの基本的な記号の使い方について理解している。 ［技能］英文を意味のまとまりごとに区切って読み、構造や意味を明確に捉えることができる。 b: 必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉え、読み取ろうとしている。	課題 小テスト 定期考査
		話すこと	a: ［知識］助動詞、受動態、不定詞を理解している。 ［技能］助動詞、受動態を用いて、情報や自分の考えを整理し、理由や根拠とともに詳しく話して伝える技能を身に付けている。 b: 助動詞、受動態、不定詞を活用しながら、情報や自分の考えを整理し、理由や根拠とともに詳しく話して伝え合っている。（発表） c: 助動詞、受動態、不定詞を活用しながら、情報や自分の考えを整理し、理由や根拠とともに詳しく話し伝え合おうとしている。（やりとり）	発表 やり取り
		書くこと	a: ［知識］助動詞、受動態、不定詞を理解している。 ［技能］助動詞、受動態、不定詞を用いて、情報や自分の考えを整理し、理由や根拠とともに詳しく書いて伝える技能を身に付けている。 b: 助動詞、受動態、不定詞を活用しながら、発表用の原稿を情報や自分の考えを整理し、理由や根拠とともに詳しく書いて伝えている。 c: 助動詞、受動態、不定詞を活用しながら、発表用の原稿を情報や自分の考えを整理し、理由や根拠とともに詳しく書いて伝えようとしている。	課題 小テスト 定期考査

※令和４年度以降入学生用

	中間考査			
	UNIT 10・11・12	聞くこと	a: 説明を聞いて、情報を詳しく聞く技能を身に付けている。 b: 【日時、場所の説明の聞き取り・会話を聞いて適切に応答する・必要な情報を読み取る】の会話文・説明文などを聞き取り、自分自身で解釈し答えを導き出すことができる。 c: 必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉え、聞こうとしている。	小テスト やり取り
		読むこと	a: ［知識］不定詞、動名詞、分詞などの基本的な記号の使い方について理解している。 ［技能］英文を意味のまとまりごとに区切って読み、構造や意味を明確に捉えることができる。 b: 必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉え、読み取ろうとしている。	課題 小テスト 定期考査
		話すこと	a: ［知識］不定詞、動名詞、分詞を理解している。 ［技能不定詞と動名詞］を用いて、情報や自分の考えを整理し、理由や根拠とともに詳しく話して伝える技能を身に付けている。 b: 不定詞、動名詞、分詞を活用しながら、情報や自分の考えを整理し、理由や根拠とともに詳しく話して伝え合っている。（発表） c: 不定詞、動名詞、分詞を活用しながら、情報や自分の考えを整理し、理由や根拠とともに詳しく話し伝え合おうとしている。（やりとり）	発表 やり取り
		書くこと	a: ［知識］不定詞、動名詞、分詞を理解している。 ［技能］不定詞、動名詞、分詞を用いて、情報や自分の考えを整理し、理由や根拠とともに詳しく書いて伝える技能を身に付けている。 b: 不定詞、動名詞、分詞を活用しながら、発表用の原稿を情報や自分の考えを整理し、理由や根拠とともに詳しく書いて伝えている。 c: 不定詞、動名詞、分詞を活用しながら、発表用の原稿を情報や自分の考えを整理し、理由や根拠とともに詳しく書いて伝えようとしている。	課題 エッセイ 小テスト 定期考査
	期末考査			
3	UNIT 13・14・15	聞くこと	a: 説明を聞いて、情報を詳しく聞く技能を身に付けている。 b: 【記号や略語を使ってメモを取る・グラフや表の説明を聞き取る・話者の意図を理解する】の会話文・説明文などを聞き取り、自分自身で解釈し答えを導き出すことができる。 c: 必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉え、聞こうとしている。	小テスト やり取り
		読むこと	a: ［知識］関係代名詞、比較、仮定法などの基本的な記号の使い方について理解している。 ［技能］英文を意味のまとまりごとに区切って読み、構造や意味を明確に捉えることができる。 b: 必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉え、読み取ろうとしている。	課題 小テスト 定期考査
		話すこと	a: ［知識］関係代名詞、比較、仮定法を理解している。 ［技能］関係代名詞、比較、仮定法を用いて、情報や自分の考えを整理し、理由や根拠とともに詳しく話して伝える技能を身に付けている。 b: 関係代名詞、比較、仮定法を活用しながら、情報や自分の考えを整理し、理由や根拠とともに詳しく話して伝え合っている。（発表） c: 関係代名詞、比較、仮定法を活用しながら、情報や自分の考えを整理し、理由や根拠とともに詳しく話し伝え合おうとしている。（やりとり）	発表 やり取り
		書くこと	a: ［知識］関係代名詞、比較、仮定法を理解している。 ［技能］関係代名詞、比較、仮定法を用いて、情報や自分の考えを整理し、理由や根拠とともに詳しく書いて伝える技能を身に付けている。 b: 関係代名詞、比較、仮定法を活用しながら、発表用の原稿を情報や自分の考えを整理し、理由や根拠とともに詳しく書いて伝えている。 c: 関係代名詞、比較、仮定法を活用しながら、発表用の原稿を情報や自分の考えを整理し、理由や根拠とともに詳しく書いて伝えようとしている。	課題 エッセイ 小テスト 定期考査

※令和４年度以降入学生用

		書くこと	a: 関係代名詞、比較、仮定法を用いた文の形・意味・用法を活用し、自分の考えを文章で書くことができる。 b: 関係代名詞、比較、仮定法を用いた文の形・意味・用法を活用し、自分の考えを短文で書くことができる。 c: 関係代名詞、比較、仮定法を用いた文の形・意味・用法を活用し、自分の考えを書こうとしている。	定期考査
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度